

市民討議会～水道の未来を考える～を開催しました。

10月30日、11月5日、11月6日の3日間、水道ビジョン・経営戦略を踏まえ、市民と一緒に古賀市の水道の未来を考える機会として、市民討議会を開催しました。

今回の市民討議会は、ドイツで住民自治として行われているプラークンクスツェレと呼ばれる手法を、日本風にアレンジし開催いたしました。無作為抽出で選ばれた市民から募り、少人数で話し合いを行い、そこで出された意見を集約して広報を行い、市民の声をまちづくりに反映させるものです。限られた特定の人の集団や専門家ではなく、テーマに関し直接の当事者ではない一般の市民で構成するため、サイレント・マジョリティと呼ばれる一般の市民の声なき声を抽出できます。市民の生の声を聴くための極めて有効な手段です。

この市民討議会を通じて、市民の率直な意見をたくさん聞くことができ、今後の水道事業を運営していく中で大変重要なものとなりました。

市民討議会の流れ

アイスブレイク

上下水道課から水道の現状について説明

水の飲み比べ

グループ討議

発表

水の飲み比べ結果

水道水、軟水(国産ミネラルウォーター)、硬水(海外産ミネラルウォーター)の水の飲み比べを体験していただきました。水道水については煮沸・冷蔵し、3種類の水を銘柄を明かさずにどの順で美味しいと感じたか、ご意見を伺いました。(3日間延べ61人に実施)

①水道水 ②軟水 ③硬水	20人
①水道水 ②硬水 ③軟水	7人
①軟水 ②水道水 ③硬水	14人
①軟水 ②硬水 ③水道水	11人
①硬水 ②水道水 ③軟水	2人
①硬水 ②軟水 ③水道水	7人

水道水を1番美味しい、又は2番目に美味しいと選んだ方が43人(70%)いらっしゃいました。

討議結果

1日目の3グループのまとめ意見

- ・料金の値上げはしない方がいい。1万円以内がいい。
- ・災害時でも安全な供給をしてほしい。供給に問題がなければ浄水場はなくてもいい。
- ・人口増加につながる魅力ある街づくりをしてほしい。

2日目の2グループのまとめ意見

- ・防災・干ばつ対策のため、自己水源は保つのが良い。浄水場は必要。
- ・料金が高いと感じるので、市民になぜ高いのかを理解してもらおうよう広報してほしい。

3日目の3グループのまとめ意見

- ・料金値上げの理由が納得できるものであれば値上げしてもいい。安定供給が大事。
- ・安定的な供給が約束されるなら浄水場はなくてもいい。
- ・水道についてネガティブなイメージがあるため、SNSや出前授業等でもっと情報を発信した方がいい。

以上、水道に関する以外のご意見として、他の分野(福祉・教育・建設など)でも、このような市民が参加したくなるワークショップを開催してほしいとの声が多数ありましたので、庁内で共有させていただきました。ご参加いただいた市民の皆さま、誠にありがとうございました。

グループ討議の様子

